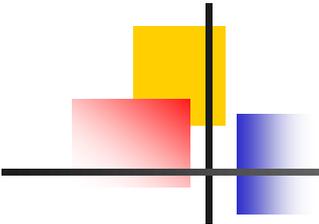


令和元年8月19日



かわちながのプラスチックごみゼロ宣言について

プラスチックは安価で使いやすいことから、私たちの生活に欠かせないものとして普及していますが、一方で、ポイ捨てなどにより適正に処理されないプラスチックごみが河川などから海に流れ込み、海の生態系に悪影響を与えていることが地球規模の問題として危惧されています。

このことから、大阪府と大阪市では「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を共同で行い、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨て防止などに向けた取組みを推進しています。

河内長野市においてもこの宣言に賛同し、年に一度、市民協働で行っている河川の一斉清掃を今後も継続して行っていくなど、河川の環境保全活動に努めていくとともに、3Rの推進や市民への啓発活動などにより、適正に処理されないプラスチックごみが発生しないよう取り組んでいくことを宣言しました。

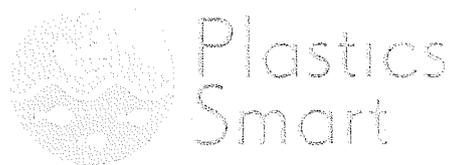
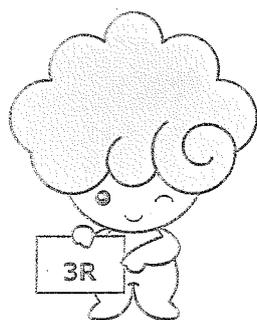
1. 「かわちながのプラスチックごみゼロ宣言」 別紙①のとおり
2. プラスチックごみゼロに向けた取組 別紙②のとおり

お問い合わせ 河内長野市 環境経済部 環境衛生課 TEL 0721-53-1111

かわちながのプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックはその機能性や経済性から、わたしたちの生活になくってはならないものとして普及しています。その一方で、適正に処理されなかったプラスチックが河川などから海に流れ出ることにより、海的环境や生態系に悪影響を与え、近年、地球規模の問題として危惧されています。

河内長野市は、大阪府初の AA 類型指定河川となった石見川を含め、多くの良質な河川を有しています。今後においても、河川を美しくする市民の会をはじめ、市民と協働で河川一斉清掃などの環境保全活動に努めていくとともに、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる推進により、適正に処理されないプラスチックごみがゼロとなるよう、自ら率先して取り組みを行うことをここに宣言します。



令和元年 8 月 19 日

河内長野市長

島田智明

プラスチックごみゼロに向けた取組

●河川一斉清掃

各地区一斉の河川清掃を昭和61年から継続して行っており、各年度、参加者は1,000名を超える。大型ごみや、プラスチック等のポイ捨てなどのごみを拾い、河川の美化に取り組んでいる。河川のごみは海洋プラスチックごみの問題に直結するため、プラスチックごみゼロに向けた取り組みとしては非常に重要なものである。

●不法投棄防止

警察との連携を図りながら、不法投棄防止のパトロールを実施するとともに、不法投棄物の迅速な回収及び適正処理に努めている。また、不法投棄防止用看板を作製し、自治会等に配布を行っている。

●プラスチックごみの資源化

分別収集により、プラスチック製容器包装やペットボトルの資源化を行っている。

●3Rの取組

・リデュース

ごみシール制（超過分有料制）の実施をはじめ、マイバッグ・マイボトル等の啓発など、ごみの排出抑制に努めている。

・リユース

奇数月にもったいない市を開催。また、春と秋にぐるぐるマルシェを開催。これらのイベントにより、市民のリユース意識の高揚に努めている。

・リサイクル

分別収集により家庭系・事業系ごみの資源化を実施している。その他、家電リサイクルや、大型金属の資源化、レアメタルなどの小型家電リサイクルにも取り組んでいる。